

大事な命を守るために  
外国人住民向け防災ワークショップを開催します



令和3年11月19日

国際政策課

担当：植木 一雄

TEL：924-3711

ターゲット 10.2

SDGs ターゲット 10.2 「各国内及び各国間の不平等を是正する」

外国人住民と日本人住民が、お互いに声かけできる関係性をつくり、外国人住民の安全・安心の確保及び災害時の迅速な対応を促すため、外国人住民と日本人住民がともにやさしい日本語で学ぶ防災ワークショップを開催します。

- 1 日時 11月20日（土）午後1時30分～午後3時30分
- 2 場所 永盛地域公民館（郡山市安積町日出山字旧屋敷44-1）
- 3 内容
  - (1) 日本語講座（防災に関する語彙の紹介）
  - (2) 防災講座（動画やハザードマップ等を使ったワークショップ）
  - (3) 災害時に便利な多言語対応ウェブサイトやアプリの紹介
- 4 参加者 郡山市等に在住の外国人 8名（予定）  
日本人住民 5名（田村町徳定町内会会員4名、日本人大学生1名）
- 5 講師
  - (1) 一般社団法人ふくしま多言語フォーラム  
日本語講師 永島 恭子 氏
  - (2) 郡山市防災危機管理課職員

<前回（平成30年度実施）の様子>



<やさしい日本語>

やさしい日本語は、外国人等にもわかるように配慮して、簡単にした日本語のことです。1995年の阪神・淡路大震災をきっかけに、外国人に対しても迅速に災害などの情報伝達を行う手段として災害時のやさしい日本語での発信の取組が全国に広がっています。近年では、外国人観光客とのコミュニケーションや、外国人住民と日本人住民の交流を促進する手段としてやさしい日本語を活用した取組が進んでいます。